

地区別計画策定ステップ事業

わが街、わが地区ならではの福祉活動、課題や可能性を住民主体で見つめなおし、“地区別計画”策定を目指し事業等を通じてその基盤づくりと取り組みを進めます。

活動者とサポートを必要な方の代弁者・両方の顔を持つ地区社協が主体となり、地区ならではの福祉活動の課題や可能性を

《進め方の具体例》

- ① 地区現状分析表の作成
- ② 計画の担い手・受け手へのヒアリング調査
- ③ 地区課題の検討
- ④ 地区課題の住民への発表

①発見 → ②発信 → ③参画 → ④充実・達成 → ⑤再発見

のステップで検証、地区が一丸となって計画づくりに取り組める基盤づくりを行います。

〈連合自治会単位・地区社協モデル地区で展開〉

地区別計画の策定へ！

- この事業は、住まう人皆が“計画が必要なんだ、計画をつくっていこう”という土壌づくりを、段階(=ステップ)を踏んで地区社協を中心にすすめていこうとする事業です。
- 前年度からの継続4地区(白山・山下・霧が丘・長津田)に、新規1地区(東本郷)が加わり、計5地区社協が自治会や民生委員をはじめ、地域住民の理解と協力を得て、地区特性を活かした取り組みを行っています。

【今年度の実施状況】

地区	プラン目標(主なテーマ)・特徴	今年度の取り組み	今後の予定
東本郷	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民自身が平素から感じていることや考えをアンケート聴取し、地域の福祉活動に採り入れていくとともに、若い世代との交流や参画を得られるようにする。 ● 実行委員会立ち上げ、構成団体の連携強化、分析結果をフィードバックする。 	第1回・第2回実行委員会を開催、アンケート目的の確認を行なうとともに、地域における活動内容と課題を共有することでアンケートの項目・内容・対象について検討を進めている。	実行委員会を月1回ベースに開催、年末・年始を目途にアンケートの実施を目指している。
白山	<ul style="list-style-type: none"> ● 全世帯配布する「おたがいさまカード」でニーズをつかみ、手助けできる方(シーズ)対象にアンケート調査、双方のためのボランティア相談室を開設する。 ● 「おたがいさまカード」によりつながりと信頼を醸成し安心のまちづくりの完成度を高める。 	「おたがいさまカード」を7月より配布し回収中。(様式・手続等は統一している)。9月末にその時点での回収結果を持ち寄り反応や内容を共有する。	挙がってきた、助けて欲しいことをふまえて、担い手を呼びかける。カードは黄と緑に色分けし自治会で保管予定。
山下	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の特徴を把握してニーズに合った方策を検討する。 ● 高齢者が容易に集まれる範囲での小地域での交流の場づくりをすすめることで、日常的な交流が結果的に防災につながるように企画する。 ● 小地域での高齢者交流の機会づくりを、各自治会でのキーマンを掘り起こしながら進める。 	前年度に作成した「防災データマップ」を活用した災害弱者の状況把握や、避難時目標の「のぼり」の作成などを通じてヒアリングを行い、各地域のキーマンの選定と協力要請を行っている。	キーマンを中心に、その地域に合った交流会の内容を検討し、実施しするを通し、となり近所で助け合えるまちづくりを進める。

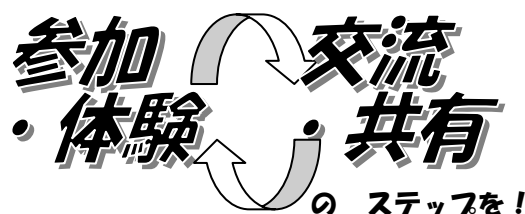
地区	プラン目標（主なテーマ）・特徴	今年度の取り組み	今後の予定
霧が丘	<ul style="list-style-type: none"> ● 潜在ニーズである理美容・配食等の在宅サービス提供のためのコーディネート拡大を中心に、地区福祉活動の見直し・整理・ネットワークづくりを行う。 ● ボランティア相談室を通じた調整(予定) 	<p>敬老の日お祝い品お渡し時に、配食・理美容サービスを受けたいか否かについてアンケートを実施。</p>	<p>具体的なサービス実施に向けて、団体等への調整を実施。</p>
長津田	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもと地区内活動者が「一緒につくりあげる」姿勢のもと、地区社協事業、学校行事、農作業体験などでの交流や事業を通じて、子どもや保護者が地域に相談しやすい関係づくりを図る。 ● 子どもと地域活動者、障がい当事者等とで「一緒に作り上げる活動」を実行委員会で検討。 	<p>5月から、田奈中福祉委員を主体とした「いぶき野昼食会」、「地区社協リハビリ教室」への参加、長津田第二小学校生徒による農作業への参加を行った。</p>	<p>地区社協活動、ボランティア活動への継続した参加や、農作業における秋の収穫が予定されている。</p>

「オトナの一期一会 座談会」

地域で活動する自治会などの**地縁型組織**と、子育てグループなどの**テーマ型組織**、それら地域活動の活性化を目指して『新しい人材を呼び込む！』をテーマに、日々の活動のなかで互いに交流する機会づくりの一環として、緑区初の試み「みどり知っとこやっこフォーラム」を19年度に行いました。

昨年度はこれらをつまみ、地域の福祉活動団体、市民活動団体の有志たちに企画段階から入っていただき、現在の「座談会」形式に至り、次のような活動に取り組んでいます。

活動をざっくばらんに語り合えることで現状を知る、**本音の情報交換ができる場**として座談会を開催し、互いに「参加・体験⇔交流・共有」のやり取り（**また一歩進んだ人材交流の輪**）が進むよう取り組んでいます。



第3回（21年度第1回）：5月21日(木)14～16時
／座談会 及び 緑区の災害時要援護者への支援 について

第4回（21年度第2回）：8月20日(木)14～16時
／座談会 及び 緑区の福祉教育 について

【次回の予定】

第5回（21年度第3回）：11月19日(木)10～12時
／座談会 及び 今後の運営について

